

議決第239号 (第7条関係)

第 239 号

4. 4. 7

坂戸市議会

令和3年度政務活動費収支報告書

令和 4年 4月 7日

坂戸市議会議長 様

会 派 名 民政クラブ

代表者名 加藤 則夫

坂戸市議会政務活動費の交付に関する条例第11条第1項(第2項)の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 収 入

政務活動費 1,160,000 円

- ・令和3年4月27日 1,200,000円交付
- ・令和4年1月11日 40,000円返還

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	15,000	坂戸市議会議員研修会負担金
広 報 費	1,067,506	会報印刷、折込代
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	1,082,506	



3 残 額 77,494 円

注1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

注2 出納簿の写し及び領収書又はこれに準ずる書類の原本を添付すること。



作成者：経理責任者 森田 文明

月 日		摘 要			収入金額		支払金額		差引金額	
4	27		政務活動費(5人分)		1,200,000				1,200,000	
5	6	広 報 費	会報印刷、折込代	1			355,850		844,150	
10	15	研 修 費	坂戸市議会議員研修会負担金	2			15,000		829,150	
11	9	広 報 費	会報印刷、折込代	3			355,850		473,300	
1	11		政務活動費返還金 (1人×20,000円 ×2か月分)				40,000		433,300	
3	28	広 報 費	会報印刷、折込代	4			355,806		77,494	
				5						
				6						
				7						
				8						
				9						
				10						
				11						
				12						
				13						
				14						
				15						
				16						
				17						
				18						
				19						

代 表 者	経 理 責 任 者
	

令和3年度政務活動費収入票

No.	収入年月日	金 額
	令和3年4月27日	1,200,000円
収入の内容	政務活動費 5人分	
備考		
<p>令和3年4月分～令和4年3月分</p> <p>20,000円 × 5人 × 12ヶ月 = 1,200,000円</p>		

代表者	経理責任者
	

令和3年度 政務活動費支出票

NO	支出年月日	金額
1	令和3年 5月 6日	355,850 円
科目	広報費	
支出の内容	会報印刷、折込代	
備考 (領収書貼付)	印刷代214,600円(37,000枚×5.8円)、折込代108,900円(33,000枚×3.3円)消費税32,350円	

領 収 証

坂戸市議会 民政クラブ 様

No. _____

★

¥ 355,850-

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

但 会報印刷、折込代

R3年 5月 6日 上記正に領収いたしました



有限会社 タイアップ・ユウ

〒350-0215 埼玉県坂戸市関間2-1-11

TEL.049-282-6270 FAX.049-282-2334



請 求 書

2021年 04月 23日 No. 000054

坂戸市千代田1-1-1
民政クラブ 様

350-0215 埼玉県坂戸市関間2丁目1番11号
有限会社 タイアップ・ユウ
代表取締役 後藤直久

お客様コードNo. [Redacted]

担当:

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
of000051	会報 B4 両面カラー コート90kg 外	37,000	枚	5.8	214,600	
ori000010	折込み代B4 外	33,000	枚	3.3	108,900	
syuhizei	消費税 非	1	式		32,350	
				合計	355,850	
				税抜		
				税額		
				合計	355,850	

民政クラブ会報

令和3年
春号

発行日令和3年4月26日

坂戸市議会 民政クラブ
坂戸市千代田1-1-1



一民政クラブ

代表 加藤 則夫 議員
小川 直志 議員
石井 寛 議員
会 計 森田 文明 議員
友田 雅明 議員

コロナ禍の中で令和3年度がスタート!!

一般会計当初予算総額は **288億3,000万円**
(対前年度比 △11億6,500万円 3.9%減)

3月定例会市議会が2月22日から3月17日までの24日間開催され、市長から提案された令和3年度一般会計当初予算案等の審議を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、市税等の減収が見込まれ前年度に比べ減額の予算となりました。

当民政クラブでは昨年10月に、新型コロナウイルス感染症対策・まちづくり・財政・教育・福祉・健康・都市整備・産業・防災の9分野、44項目の「令和3年度坂戸市一般会計当初予算に係る提言書」を市長へ提出しておりますが、市長から提案された令和3年度当初予算案については、当民政クラブの提言が反映された内容であり民政クラブでは予算案に賛成いたしました。

◎人口一人当たり予算額は28万7千円

◎人口一人当たり市税額 12万3千円

(令和3年1月1日現在人口 100,612人で積算)

《令和3年度当初予算における新規事業と拡大事業》

【誰もが安全で安心して暮らせる、やさしいまちづくり】

●新型コロナウイルスワクチン接種事業 (全額国庫補助) **408,144千円**
※令和2年度補正予算で接種に向けた準備費用及び医療従事者への接種費用として **46,705千円**を措置しているため事業費総額は **454,849千円**となる。

●地域防災計画推進事業 **7,000千円** (新規)
災害対策基本法や水防法の改正、埼玉県地域防災計画との整合性を図るとともに、本市の水害の教訓を踏まえ、坂戸市地域防災計画を改定する。

●自動体外式除細動器(AED)配備事業 **9,637千円** (拡大)
市内公共施設75施設にAEDを配備、屋外にAED収納ボックスを新たに設置する。

●生活困窮者自立支援事業 **40,575千円** (拡大)
生活に困窮している市民に対し自立相談支援や住居確保給付金の支給を行い自立を助長する。

●市民後見推進事業 **1,500千円** (拡大)
市民後見人養成講座を実施するとともに、成年後見センターを開設する。

【将来を担う子どもたちを応援するまちづくり】

●ファミリー・サポート・センター運営事業 **5,014千円** (拡大)
会員相互で子育て支援を行うファミリー・サポート・センターを運営。新たに緊急サポート事業を実施する。

●子どもの貧困対策推進事業 **21,710千円** (拡大)
子ども支援コーディネーターの配置やひとり親家庭等の学習支援を実施。学習支援教室を3か所から4か所へと増設する。



●学童保育所整備事業 **6,077千円** (新規)
学童保育所「なかよしクラブ」の整備に係る設計を新たに実施する。

●乳幼児健診事業 **55,226千円** (拡大)
妊婦・乳幼児健康診査等を実施しているが、新たに新生児聴覚検査に係る費用の一部助成事業を実施する。



【地域の活力を高め、快適な環境を創造するまちづくり】

●移住定住促進事業 **6,000千円** (新規)
結婚を機に本市に居住する新婚世帯に対し、結婚新生活支援補助金を交付する。

●ICT・データ活用推進事業 **7,544千円** (新規)
行政データや最先端技術の活用を図るため、RPAソフトウェアや多言語音声翻訳機等を運用。新たに会議等の音声テキスト化システムを導入する。

●ごみ・資源物分別マニュアル改訂事業 **352千円** (新規)
ごみ・資源物の分別徹底を図るため、ごみ分別アプリを導入する。

●学校・地域等連携推進事業 **1,681千円** (新規)
学校応援団推進事業、中学校社会体験チャレンジ事業を実施しているが、新たに小学校2校、中学校2校に学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置する

●市民総合運動公園管理事業 **16,372千円** (新規)
トレーニングマシン器具等を借上げているが、新たに第一多目的運動場の芝生張替に係る設計を実施する。

【まちづくりを下支えする施策】

●庁内ポータルサイト管理運用事業 **8,204千円** (新規)
全庁的な事務の効率化を図るため、メールや掲示板等の機能を有したグループウェアシステムの運用のほか、新たにWeb会議システムを導入する。

●ミツバチプロジェクト推進事業 **2,629千円** (新規)
ミツバチの飼育、ハチミツ絞り体験、環境学館いずみに採蜜室の設置工事を実施する。

●浄化槽台帳推進事業 **615千円** (新規)
浄化槽の適正な維持管理を推進するため、新たに県等と連携した浄化槽台帳を導入する。



新型コロナウイルスワクチン 接種に関する相談先

接種場所、集団接種の予約、接種券の紛失など一般的な相談は
坂戸市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター
☎0570(066)001 受付時間：午前9時～午後5時
聴覚障害者の方向けFAX 284-3939

副反応等に関する専門的な相談は
埼玉県コールセンター ☎0570(033)226 [24時間受付]
聴覚障害者の方向けFAX 048(830)4808

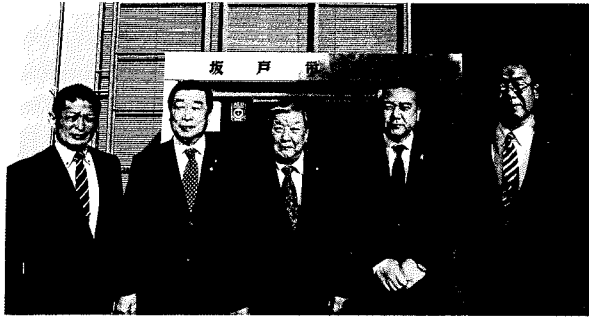
ワクチン接種に係る基礎的な情報、コロナワクチン施策の在り方等は
厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター
☎0120(761)770 開設時間：午前9時～午後9時
聴覚障害者の方向けFAX 03(3581)6251

【令和3年度特別会計当初予算】

区 分	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比 較
石井土地区画整理事業	412,059千円	592,730千円	180,671千円減
坂戸中央2日の出町〳	126,369千円	170,070千円	43,701千円減
片柳 〳	525,178千円	731,248千円	206,070千円減
関間四丁目 〳	145,092千円	214,228千円	69,136千円減
国民健康保険	9,674,000千円	9,747,000千円	73,000千円減
介護保険	6,610,804千円	8,303,861千円	1,693,057千円減
後期高齢者医療	1,332,436千円	1,307,216千円	25,220千円増
坂戸市、鶴ヶ島市外 三組合公平委員会	535千円	535千円	0

※この会報は、政務活動費により作成されています。

民政クラブ議員紹介



加藤 則夫

坂戸市監査委員
市民福祉常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島水道企業団協議員

小川 直志

議会運営委員会委員長
予算決算常任委員会委員
総務文教常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島下水道組合協議員

石井 寛

坂戸、鶴ヶ島下水道組合協議員
環境都市常任委員会委員

森田 文明

副議長
予算決算常任委員会委員
総務文教常任委員会委員
坂戸・鶴ヶ島消防組合協議員

友田 雅明

環境都市常任委員会副委員長
予算決算常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島水道企業団協議員
坂戸地区衛生組合協議員



【災害に強いまちづくりに向けた取組み】

— 令和元年東日本台風被害を受けて —

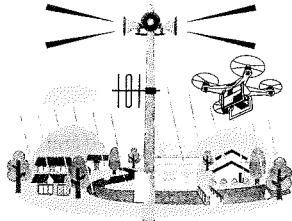
坂戸市の取組み

●防災行政無線放送設備等整備工事が完了

令和元年度・2年度の2カ年を工事期間とし、総額 607,563 千円を投じて整備工事を実施。

(主な内容)

- ・固定系放送設備の更新
- ・アナログ無線からデジタル無線化へ
- ・防災アプリ、ドローンの導入
- ・気象観測装置を市内3カ所に設置
- ・河川監視システムの導入など



●坂戸市防災マップを改訂し配布。

●令和3年度は坂戸市地域防災計画の改訂を実施。

埼玉県の取組み

(葛川・飯盛川・高麗川(県管理区間)の水害対策)

・令和2年度

葛川と飯盛川にそれぞれ監視カメラを設置。各河川の流下能力を高めるための土砂撤去と樹木の伐採など実施。

・令和3年度

【葛川】 排水機場の設置に向けた設計業務と調整池の整備に向けた地質調査を実施。

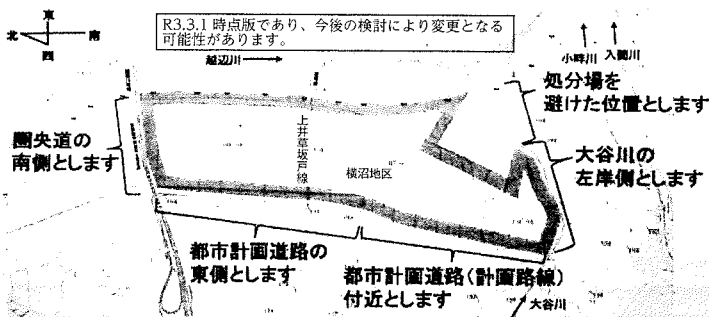
【飯盛川】 排水機場の増設に向けた設計業務と調整池の整備に向けた地質調査を実施。



国の取組み

入間川流域緊急治水対策プロジェクト

1. 令和元年東日本台風で決壊した越辺川右岸平塚新田地先の堤防の復旧が完了。
2. 越辺川河道の流下能力向上のための河道内の土砂掘削と樹木伐採の実施。
3. 越辺川遊水地計画 (案)
 - (仮称) 越辺川遊水地の範囲は、家屋や公共施設等に影響を与えないように計画。
 - 令和3年度以降、現地の詳細測量や地質調査等を行い、遊水地を囲む堤防 (周囲堤) の位置を詳細に検討。



※本図面は、遊水地の概ねの範囲を示したものであり、周囲堤の位置は、今後詳細に検討していきます。

【一部事務組合の事業概要】

坂戸市では、上下水道・消防・斎場・し尿処理事業を効果的・効率的に実施するため、他自治体と一部事務組合を組織して共同で行っています。

坂戸、鶴ヶ島水道企業団 (水道事業)

1. 概要: 坂戸市と鶴ヶ島市の2市で管内の水道事業を共同で行っています。
2. 令和3年度予算: 水道事業収益 34 億 6,045 万円 (うち本市負担金 136 万円)、水道事業費用 32 億 8,408 万円、資本的収入 1 億 5,574 万円、資本的支出 17 億 7,844 万円
3. 主な事業: 災害時に給水所となる小中学校へ繋がる配水管の耐震化事業や 40 年以上経過したビニル管を耐震性の優れたものへと更新する老朽管更新・耐震化事業等を行います。
また、水道企業団が所有する 30 カ所の井戸用地のうち、現在活用していない 5 カ所の土地の売却を含めた資産の活用に取組みます。

坂戸、鶴ヶ島下水道組合 (下水道事業)

1. 概要: 坂戸市と鶴ヶ島市の2市で管内の公共下水道事業を共同で行っています。
2. 令和3年度予算: 下水道事業収益 44 億 418 万円 (うち本市負担金 6 億 3,354 万円)、下水道事業費用 43 億 1,122 万円、資本的収入 29 億 311 万円 (うち本市負担金 9,727 万円)、資本的支出 40 億 4,102 万円
3. 主な事業: 公共下水道処理事業の安定した運営を図るとともに、本年度は大谷川雨水ポンプ場増設整備、石井水処理センター増設整備を行います。
4. 処理計画の見直し: 昨年度、埼玉県の生活排水処理施設整備構想の見直しに伴い、本組合の整備区域を坂戸市・鶴ヶ島市の全域から市街化区域へと変更する等の全体計画の見直しを行ったことにより将来的な投資的経費は大幅に減少することとなりますが、今後 10 年間で整備に要する経費は約 200 億円見込まれる状況となっています。

坂戸、鶴ヶ島消防組合 (消防・救急事業)



1. 概要: 坂戸市と鶴ヶ島市の2市で管内の消防・救急事業を共同で行っています。
管内に消防署 2 カ所と、消防分署 2 カ所を設置。職員定数は 210 人。
2. 令和3年度予算: 24 億 9,469 万円 (うち本市負担金 13 億 5,178 万円)
3. 主な事業: 鶴ヶ島消防署に救急隊を 1 隊増隊し高度救急体制の強化を図るとともに、高規格救急自動車 2 台の更新 (6,454 万円) や消防団消防ポンプ車 2 台の更新 (4,059 万円)、災害用ドローンの導入等を行います。また、令和元年東日本台風で浸水被害を受けた坂戸消防署東分署の移転に向け事務を進めてまいります。

坂戸地区衛生組合 (し尿処理事業)

1. 概要: 坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、鳩山町の2市3町で、管内のし尿処理事業を共同で行っています。構成自治体で下水道等処理人口を除くし尿処理人口は 61,179 人。坂戸市は 27,170 人で 44.4% を占めています。
2. 令和3年度予算: 2 億 6,500 万円 (うち本市負担金 9,698 万円)
3. 主な事業: 汚泥処分、施設運営管理に 1 億 144 万円。施設の修繕や光熱水費に 9,085 万円等支出し、安定した施設運営に努めています。

広域静苑組合 (越生斎場)

1. 概要: 坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、鳩山町の2市3町で、公営斎場 (火葬事業) を運営しています。
坂戸市は平成 30 年 12 月に組合へ正式加入しました。令和元年度における坂戸市民の利用件数は 889 件で全体の 39.69% を占めています。
2. 令和3年度予算: 2 億 1,649 万円 (うち本市負担金 9,775 万円)
3. 組合加入に係る本市の負担額について: 広域静苑組合加入負担金 19 億 8,268 万円 (新施設整備に係る本市負担分等) 及び周辺対策本市負担分 5 億 1,287 万円。合計 24 億 9,555 万円を組合加入に際し負担しました。

代表者	経理責任者
	

令和3年度 政務活動費支出票

N O	支出年月日	金 額
2	令和3年 10月 15日	15,000 円
科 目	研 修 費	
支出の内容	坂戸市議会議員研修会負担金	
備 考 (領収書貼付)	別紙のとおり	

領 収 書

坂戸市議会 様

金 60,000 円也

坂戸市議会議員研修会講師謝金（交通費込み）として領収しました。

令和3年10月15日

住所 東京都練馬区立野17-12-602

氏名 内田 一夫

○研修会負担金【民政クラブ】



3,000円×5人（参加者）=15,000円

【参考】

1人あたりの研修会負担金3,000円

(60,000円÷20人(対象者)=3,000円)

民政クラブ	5人	15,000円	公明党	4人	12,000円
日本共産党	4人	12,000円	立憲民主・社民の会	3人	9,000円
みらい	2人	6,000円	さかど新政会	2人	6,000円

代表者	経理責任者
	

令和3年度 政務活動費支出票

N O	支出年月日	金 額
3	令和3年 11月 9日	355,850 円
科 目	広 報 費	
支出の内容	会報印刷、折込代	
備 考 (領収書貼付)	印刷代214,600円(37,000枚×5.8円)、折込代108,900円(33,000枚×3.3円)消費税32,350円	

領 収 証

坂戸市議会 民政クラブ 様

No.

★

¥ 355,850-

内 訳

現金

小切手 /

手 形 /

消費税額等(%)

但 会報印刷、折込代

R3 年 11 月 9 日 上記正に領収いたしました



有限会社 タイアップ・ユウ

〒350-0215 埼玉県坂戸市関間2-1-11
TEL.049-282-6270 FAX.049-282-2334



民政クラブ会報

令和3年
秋号

発行日令和3年11月8日

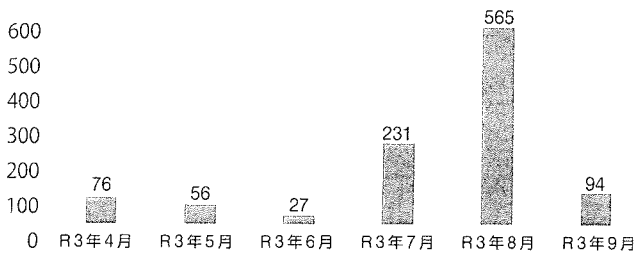
坂戸市議会 民政クラブ
坂戸市千代田1-1-1

—民政クラブ—

代表 加藤 則夫 議員
小川 直志 議員
石井 寛 議員
会計 森田 文明 議員
友田 雅明 議員

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため 第6波に備えて感染予防対策にご協力を。

●坂戸市における感染者数の推移



- 10月中における新規陽性者数は、4名(令和3年10月27日現在)
- 市内における陽性者数は合計1,433名()

●坂戸市におけるワクチン接種状況

(令和3年10月15日現在)

接種方法	1回目(人)	2回目(人)	合計(人)
集団接種	6,540	5,957	12,497
個別接種等※	63,010	55,141	118,151
合計	69,550	61,098	130,648
本市接種率	74.9%	65.8%	70.4%
県内平均接種率	71.8%	61.7%	66.8%

新型コロナウイルス感染症対策(9月議会補正予算等)

●新型コロナウイルスワクチンの接種事業521,900千円

ワクチン接種体制の強化に要する経費

●学校給食費補助事業135,511千円

コロナ禍における就学世帯の経済的負担軽減のため、令和3年12月から令和4年3月までの給食費を無償化

●市内の公私立保育施設・幼稚園等従事職員のPCR検査実施事業53,107千円

ワクチン接種対象年齢ではない園児等の安全を確保するため、保育施設、学童保育所、児童センター、幼稚園等59施設の従事職員962人を対象に、令和3年11月から令和4年3月まで月2回のPCR検査を実施。検査判定で感染疑いとなった場合の医療機関への受診費用も助成

●小中学校への自動水栓設置事業29,643千円

小中学校の廊下等の手洗い場にセンサー式自動水栓を1,177台設置※既に保健室と校舎トイレに443台設置しているので合計1,620台となる。

●新生児特別給付金給付事業 64,883千円

令和4年4月1日までに出生する新生児へ10万円の特別給付金を給付

●学童保育所指定管理事業 9,600千円

学童保育所で使用する感染予防にかかる消耗品の購入経費

●地域型保育事業 6,300千円

小規模保育施設及び認可外保育施設で使用する感染予防にかかる消耗品の購入経費

●インフルエンザ予防接種費用の助成事業98,505千円

満6か月以上、中学校3年生以下の子ども及び65歳以上の高齢者に対するインフルエンザ予防接種費用を助成

●文化施設管理事業 15,885千円

文化会館のトイレの洋式化工事等を実施

●図書館資料整備事業 10,500千円

電子図書館の更なる充実を図るための電子書籍の購入

●その他、公共施設へのセンサー式自動水栓の設置等40事業 71,533千円



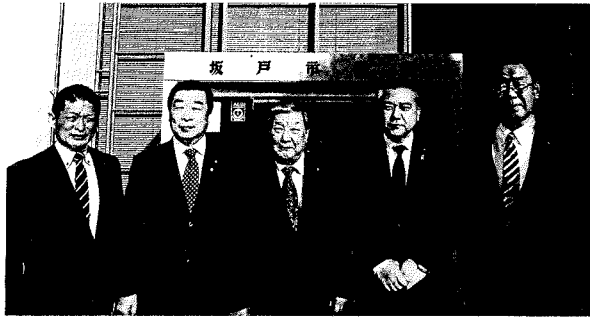
新型コロナウイルスワクチンの 3回目接種に係る提言書を提出

冬の季節を迎えるにあたり、新型コロナウイルス感染症の再拡大(第6波)が懸念されることから、当会派として10月15日に市長に対して感染拡大を阻止するため、2回のワクチン接種から半年以上が経過する医療従事者や高齢者からワクチンの効果を引き上げるための3回目の接種を遅滞なく速やかに実施するための体制整備を図るとともに、接種に要する関係予算については12月定例議会を待たずに必要に応じ専決処分により進めることも検討するよう提言を行いました。



写真撮影時のみマスクをはずしました

民政クラブ議員紹介



加藤 則夫

坂戸市監査委員
市民福祉常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島水道企業団議会議員

小川 直志

議会運営委員会委員長
予算決算常任委員会委員
総務文教常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島下水道組合議会議員

石井 寛

坂戸、鶴ヶ島下水道組合議会議長
予算決算常任委員会委員
環境都市常任委員会委員

森田 文明

副議長
予算決算常任委員会委員
総務文教常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島消防組合議会議員

友田 雅明

環境都市常任委員会副委員長
予算決算常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島水道企業団議会議員
坂戸地区衛生組合議会議員



9月定例会市議会が8月31日から9月24日までの25日間開催され、市長から提案された令和2年度一般会計歳入歳出決算等の審議を行いました。

《坂戸市の令和2年度一般会計決算の状況》

**歳入総額442億1,075万円、
歳出総額426億5,537万円、
実質収支は12億5,554万円の黒字。**

概 要

- 歳入では、国庫支出金である特別定額給付金給付事業費補助金が100億8千万円、地方創生臨時交付金が9億6千万円増加するとともに、地方消費税交付金が3億7千万円、県支出金が2億3千万円、繰越金が7億9千万円、それぞれ前年度を上回ったことなどから全体として前年度を119億8千万円上回りました。
- 歳出では、新型コロナウイルス感染症対策に係るものとして、特別定額給付金給付事業が100億8千万円、小規模事業者支援事業が2億円、子育て世帯臨時特別給付金給付事業が1億2千万円増加したほか、小中学校コンピュータ整備事業が7億6千万円、清掃センター解体事業が3億6千万円、幼児教育無償化事業が1億5千万円増加したことなどから、全体として前年度を122億3千万円上回りました。
- 令和2年度一般会計の市債(市が借入れたお金)の残高260億2,368万円
- 令和2年度一般会計の公債費(市が借入れたお金の返済額)26億162万円
- 財政調整のための基金残高44億3千万円
- 財政健全化判断比率(全国全ての地方公共団体が作成し公表する4つの指標)
⇒国が示す早期健全化基準を全て下回っており坂戸市の財政運営は健全です。
令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策や子育て支援等の各種施策に積極的な取組みがされるとともに、財源の重点的な配分と経費節減・合理化による効率的な財政運営が行われ健全財政が確保されたことから当民政クラブは決算の認定に賛成いたしました。

【令和2年度における人口等の状況】

1. 人口(令和3年3月31日現在)

●人口の状況

区分	人口(前年比)	男(前年比)	女(前年比)
日本人	97,437人(-400)	48,611人(-325)	48,826人(-75)
外国人	2,936人(-5)	1,482人(-48)	1,454人(+43)
合計	100,373人(-405)	50,093人(-373)	50,280人(-32)

※人口は全体で前年比405人の減少。【国籍別外国人人口】

- ①ベトナム 839人 ②中国 691人 ③フィリピン 266人
- ④ブラジル 256人 ⑤ネパール 159人 ⑥その他 725人

●人口構成

年齢3区分別	人口	割合	参考(平成23年4月1日)
年少人口(0~14歳)	11,602人	11.6%	13,662人(13.5%)
生産年齢人口(15~64歳)	58,860人	58.6%	66,349人(65.7%)
高齢者人口(65歳以上)	29,911人	29.8%	21,038人(20.8%)
総人口	100,373人	100%	101,049人(100%)

※少子高齢化がますます進行。市民の約3人に1人が高齢者。

2. 住民異動人口の状況(住民基本台帳)

- (増) 転入4,445人 出生529人 その他177人 計5,151人
- (減) 転出4,237人 死亡1,022人 その他297人 計5,556人 差引405人減

◎市民1人に使われた市のお金 423,959円

◎市民1人あたりの市税負担額 135,384円

(令和3年1月1日現在の人口100,612人で算出)

【審議における会派所属議員の質疑】 ※一部抜粋

問 法人市民税収入額から見た市内法人の新型コロナウイルス感染症拡大の影響は。

答 令和2年度においては法人市民税における新型コロナウイルス感染症拡大の大きな影響は出ていない。

問 婚活支援事業である「恋たま坂戸サポートセンター」の効果をどう評価しているのか。

答 坂戸市在住の会員は81名。開設以降8名の方が結婚退会している。坂戸市民の登録者は他自治体に比べて多く結婚を望む方の支援としての効果があると考えている。

問 勤労女性センターで行っている女性相談件数が前年度と比べて大幅に増加している。カウンセラーによる相談日を増やし相談体制の充実を図る必要があるのではないかと。

答 令和2年度に勤労女性センター職員を増員し体制強化を図ったが相談体制の充実に向け検討していく。

問 水防団に関する支出がなかったが、団員が水防活動に必要な資機材や身の安全確保を図るための装備品等の整備について水防団からの希望等を聴取しているのか。

答 水防団との意見交換は随時行っている。今後は資機材や装備品等について意見聴取を行う。

問 令和2年度に学習支援員と校務支援員をそれぞれ18校に増員して配置した成果は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消毒作業やプリントの印刷などの校務を分業することができるようになり、児童生徒にきめ細やかな学習支援も可能となった。

問 多子世帯への給食費補助件数が前年度と比べて増加した理由は

答 令和2年度から補助対象者の年齢制限を撤廃したことにより対象者が拡大されたため補助件数が増加した。

問 公民館等公共施設への自動水栓設置は年内に完了予定とのことだが遅い。このような感染防止対策事業は補正予算でなく専決処分をしても早急に取り組むべきではなかったか。

答 早急な対策が必要のため専決処分も考えられるが、各所管の施設における設置必要数の精査に一定の時間も要したことから今回の補正予算となった。

問 こども110番の家が前年度と比べて減少し、子どもたちへの影響が懸念されるが増加させるための対策は。

答 学校やPTA等の関係団体と連携しながら、こども110番事業の啓発を推進していくことにより、地域の皆様に事業の主旨をご理解いただき、1件でも多く登録件数の増加に努めてまいります。

問 ゴミ不法投棄の監視強化策は。

答 監視カメラなど監視強化策を行いたい。

問 水稲「彩のきずな」の種もみ代の半額補填について令和3年度は予算計上がないが実績も増加傾向にあるので再計上する考えは。

答 「彩のきずな」への転換を促し、地産地消につなげることが大きな意図で一定の効果は出たと考えており、再度の予算化は考えていない。

問 観光協会設立についてどのように進めているのか。

答 設立について精査しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から関係団体と意見交換を見合わせている。

問 堤防周辺の草刈りについて市と河川管理者(国・県)が実施時期を合わせるなど調整すべきでは



答 河川管理者に確認し同じ時期に実施できるよう調整しているが、今後も苦情が少なくなるように調整していく

問 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の現状と今後の見込みは

答 令和2年度末における単独処理浄化槽の設置基数は2,752基、合併処理浄化槽への転換が年間50基とすると約50年かかる見込み。

問 貸出用チップ機は、竹が投入禁止とされているが竹は処理できないか。

答 竹やつる等は機器への巻付きなどチップ機の故障原因となるので投入を禁止している。竹は、西清掃センターで処理可能な大きさ等に割って頂き、直接搬入いただきたい。

代表者	経理責任者
	

令和3年度 政務活動費支出票

N O	支出年月日	金 額
4	令和4年 3月 28日	355,806 円
科 目	広 報 費	
支出の内容	会報印刷、折込代	
備 考 (領収書貼付)	印刷代214,560円(36,000枚×5.96円)、折込代108,900円(33,000枚×3.3円)消費税32,346円	

領 収 証

坂戸市議会 民政クラブ 様

No. _____

★

¥ 355,806-

内 訳

現金

小切手 /

手 形 /

消費税額等(%)

但 会報印刷、折込代

R4年 3月 28日 上記正に領収いたしました



DESIGN&PRINT SERVICE
Tjeup

有限会社 タイアップ・ユウ

〒350-0215 埼玉県坂戸市関間2-1-11
TEL.049-282-6270 FAX.049-282-2334



請 求 書

2022年 03月 25日 No. 000914

1

350-0215 埼玉県坂戸市関間2丁目1番11号
 有限会社 タイアップ・ユウ
 代表取締役 後藤直久

坂戸市千代田1-1-1

民政クラブ 様

お客様コードNo. [Redacted]

担当:

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
of000051	会報8号 B4 両面カラー コート90kg	36,000	枚	5.96	214,560	
ori000010	折込み代B4	33,000	枚	3.3	108,900	
syouthizei	消費税		1式		32,346	
				合計	355,806	
				税抜		
				税額		
				総額	355,806	

民政クラブ会報

令和4年
春号

発行日令和4年3月28日

坂戸市議会 民政クラブ
坂戸市千代田1-1-1

—民政クラブ—

代表 加藤 則夫 議員
石井 寛 議員
会計 森田 文明 議員
友田 雅明 議員

《令和4年度坂戸市予算が成立!》

一般会計当初予算総額は 310億200万円
(対前年度比 21億7,200万円 7.5%増)

3月定例会議が2月21日から3月16日までの24日間開催され、市長から提案された令和4年度一般会計当初予算案等の審議を行いました。

新型コロナウイルス感染症が依然として収束していない状況下ではありますが、市民税や固定資産税等、市税の増収が見込まれことから前年度に比べ増額の予算となりました。

当民政クラブは昨年10月に、新型コロナウイルス感染症対策・まちづくり・財政・教育・福祉・健康・都市整備・産業・防災の9分野、47項目の「令和4年度坂戸市一般会計当初予算に係る提言書」を市長へ提出しておりますが、市長から提案された令和4年度当初予算案については、当民政クラブの提言が反映された内容であり民政クラブでは予算案に賛成いたしました。

◎人口一人当たり予算額は 31千円

◎人口一人当たり市税額 13万4千円

(令和4年1月1日現在人口 99,992人で積算)

《令和4年度当初予算における新規事業と拡大事業》

【誰もが安全で安心して暮らせる、やさしいまちづくり】

●交通安全対策推進事業【一部新規事業】 2,113万円

交通安全推進団体等と連携した交通安全運動、自転車乗車用ヘルメット

購入費補助、交通指導員等による交通安全指導及び交通安全教室等を実施。

【新規】啓発品として、さかろんマスコット型リフレクターを製作

●生活困窮者自立支援事業【拡大事業】 4,917万4千円

生活に困窮している市民に対し、自立相談支援や住宅確保給付金の支給を行い、

自立を助長。【拡大】福祉総合相談窓口機能の追加

●障害者援護事業【拡大事業】 2億6,223万7千円

心身障害者の自立及び社会参加促進に向け各種の手当、医療費等の福祉

援護を実施。

【拡大】令和4年10月から重度心身障害者医療費の県内現物給付化を開始

●介護保険事業者支援事業【新規事業】 1億5,425万1千円

地域密着型サービス事業所を新たに整備する法人に対し、補助を実施。

●生活保護適正実施推進事業【一部新規事業】 1,485万3千円

被保護者の健康管理支援等の生活保護の適正実施を推進。

【新規】被保護者の年金調査を実施。

●予防接種実施事業【拡大事業】 3億5,665万3千円

新型コロナウイルス、ロタウイルス、四種混合、日本脳炎、麻疹風しん

混合、インフルエンザ等の予防接種を実施。

【拡大】子宮頸がんワクチンの接種の積極的勧奨の再開及び接種対象年齢

を25歳の女性まで拡大。

【将来を担う子どもたちを応援するまちづくり】

●子ども医療費支給事業【拡大事業】 3億1,296万円

出生から中学校修了までの児童の医療費の無償化を実施。

【拡大】令和4年10月から県内現物給付化を開始。

●ひとり親家庭等医療費支給事業【拡大事業】 5,188万7千円

所得が制限額内のひとり親家庭等の保護者及び18歳未満児童の医療費の

無償化を実施。【拡大】令和5年1月から県内現物給付化を開始。

●公私連携型保育所推進事業【新規事業】 4,782万9千円

坂戸保育園を公私連携型保育所とするため、仮園舎に係る工事等を実施

し、園舎の建て替えに係る設計費を補助。

●学童保育所運営管理事業 2億8,698万円

学童保育所の運営、【新規】「なかよしクラブ」の整備工事、「風の子クラブ」

の整備工事に係る設計等を新たに実施。

●乳幼児健診事業【一部新規事業】 6,915万7千円

母子健康手帳・妊婦健康診査助成券の作成、妊婦・乳幼児健康診査等を

実施。【新規】産婦健診に係る費用を一部助成、

【新規】3歳児健診時の弱視等の早期発見のため、屈折検査機器を導入。

●子育て世代包括支援推進事業(母子保健型)【拡大事業】 859万4千円

子育て世代包括支援センター(母子保健型)を運営、産後ケア及び産前産後サポート事業を実施。【拡大】産後ケアの対象期間を出産後4か月以内から1年未満に延長。

●不登校解消事業【一部新規事業】 2,030万9千円

相談体制の充実を図るため、引き続き小・中学校にさわやか相談員を配置、

【新規】いじめや不登校の未然防止、諸問題の円滑な解決を図るため、法律相談業務委託を実施。

●私立幼稚園等特別支援教育費補助事業【拡大事業】 1,266万4千円

私立幼稚園等に対し、補助対象を拡大し、支援を必要とする園児に係る特別支援職員の経費を一部補助。

【地域の活力を高め、快適な環境を創造するまちづくり】

●多文化共生事業【拡大事業】 28万2千円

日本語教室等を開催し、多文化共生の推進、【拡大】日本語教室ボランティアを対象とした研修会を実施。

●シティプロモーション推進事業【一部新規事業】 266万5千円

シティプロモーションの一環として、さかろんのキャラクターグッズを製作。【新規】ネックストラップ、ピンバッジを製作。

●地球温暖化対策事業【一部新規事業】 1,919万3千円

地球温暖化対策実行計画の推進、省エネルギー機器等設置費を補助。【新規】公共施設への再生可能エネルギー設備の導入調査を実施。

●地域交流センター化推進事業【新規事業】 28万8千円

全公民館の地域交流センター化に向けて、市民を交えた協議会を開催するほか、市民アンケート等を実施。

●宅地耐震化推進事業【新規事業】 400万円

西坂戸地内の大規模盛土7か所における、宅地耐震に関する調査を行うための優先度の評価を実施

●住宅対策事業【拡大事業】 1,094万円

良好な生活環境を確保するため、空き家等の改修等に関する一部補助、

【拡大】多世代同居住宅改修費等の費用の一部補助、適正管理の啓発や工事を実施、空き家等対策計画を改訂。

●学校・地域等連携推進事業【拡大事業】 377万9千円

学校応援団推進事業、中学校社会体験チャレンジ事業を実施、【拡大】全校に学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置。

●市民総合運動公園管理事業【一部新規事業】 4億656万円

市民総合運動公園の運営を指定管理により実施、【新規】第一多目的運動場の芝生を人工芝へ張替え、大体育室等の耐震診断を実施。

【まちづくりを下支えする施策】

●電子契約運用事業【新規事業】 24万円

書面・対面規制、押印等の見直しの一環として電子契約を運用。

●公民館施設整備事業 745万円

大家公民館体育室のLED化工事を実施。

●ミツバチプロジェクト推進事業 33万4千円

環境との共生啓発、蜜源化対策、ハチミツ搾り・販売、養蜂家の育成【新規】ハチミツレシビの開発。

【令和4年度特別会計当初予算】

区分	令和4年度予算額	令和3年度予算額	比較
石井土地区画整理事業	4億2,376万1千円	4億1,205万9千円	1,170万2千円増
坂戸中央2日の出町	2,354万9千円	1億2,636万9千円	1億282万円減
片柳	6億6,127万1千円	5億2,517万8千円	1億3,609万3千円増
関閘四丁目	1億4,060万6千円	1億4,509万2千円	448万6千円減
国民健康保険	96億5,900万円	96億7,400万円	1,500万円減
介護保険	70億6,720万8千円	66億1,080万4千円	4億5,640万4千円増
後期高齢者医療	15億2,017万5千円	13億3,243万6千円	1億8,773万9千円増
坂戸市、鶴ヶ島市外三組合公平委員会	53万5千円	53万5千円	0

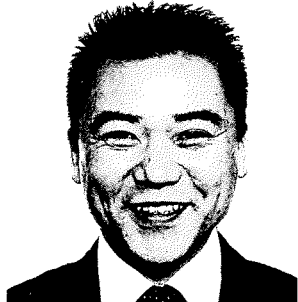
※この会報は、政務活動費により作成されています。

民政クラブ議員紹介



加藤 則夫

坂戸市監査委員
市民福祉常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島水道企業団議会議員



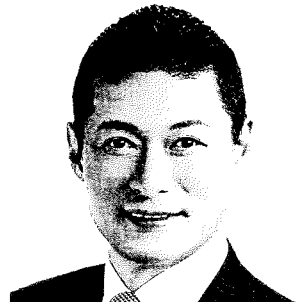
石井 寛

坂戸、鶴ヶ島下水道組合議会議長
予算決算常任委員会委員
環境都市常任委員会委員



森田 文明

副議長
予算決算常任委員会委員
総務文教常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島消防組合議会議員



友田 雅明

環境都市常任委員会副委員長
予算決算常任委員会委員
坂戸、鶴ヶ島水道企業団議会議員
坂戸地区衛生組合議会議員

※本年1月に小川直志議員が一身上の都合(議員辞職)により退会いたしました。

ロシアによるウクライナ侵攻に対する抗議決議を全会一致で可決

ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議

我が国を含む国際社会が強く自制を求める中、ロシアは本年2月24日、ウクライナに侵攻した。

ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法及び国連憲章の深刻かつ重大な違反である。力による一方的な現状変更は断じて認められない。

この事態は、欧州にとどまらず、日本が位置するアジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻なことである。

この行為は、平和都市宣言を行い、核兵器の速やかな廃絶と世界平和実現を求める坂戸市民の心を踏みにじるものであり、断じて容認することはできない。

よって、本市議会は今回のロシアによるウクライナへの侵攻に対して強く抗議するとともに、軍の即時撤収、国際法の順守を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月10日
坂戸市議会

【一部事務組合の事業概要】

坂戸、鶴ヶ島水道企業団 (水道事業)

1. 概要

坂戸市と鶴ヶ島市の2市で管内の水道事業を共同で行っています。

2. 令和4年度予算:

水道事業収益34億3,733万円(うち本市負担金135万円)、水道事業費用32億4,545万円、資本的収入1億6,832万円、資本的支出19億6,482万円

3. 主な事業

幹線管路となる口径300mm以上の配水管及び災害時に給水所となる小・中学校などにつながる配水管を、耐震性が優れたものに更新する幹線管路・重要給水施設配水管更新事業、現存する老朽管の中で、主に40年以上経過したビニル管路を、耐震性が優れたものに更新する老朽管更新・耐震化事業、城山配水池の耐震化工事等を行います。

坂戸、鶴ヶ島下水道組合 (下水道事業)

1. 概要

坂戸市と鶴ヶ島市の2市で管内の公共下水道事業を共同で行っています。

2. 令和4年度予算:57億8,000万円(うち本市負担金6億5,925万9千円)

3. 主な事業

公共下水道処理事業の安定した運営を図るとともに、昨年度に引き続き大谷川雨水ポンプ場増設整備事業、石井水処理センターの増設整備を行います。

4. 組合事業に係る諸計画の策定

国の社会資本総合整備事業の交付金を受けるため「下水道総合地震対策事業」、「下水道ストックマネジメント支援制度」及び「耐水化計画」等を策定し、計画的に事業を進めることとしました。また、それらの諸計画の策定に伴い、昨年度作成した経営戦略の見直しを行い、今後10年間で整備に要する費用を約260億円と見込みました。

坂戸、鶴ヶ島消防組合 (消防・救急事業)

1. 概要

坂戸市と鶴ヶ島市の2市で管内の消防・救急事業を共同で行っています。

管内に消防署2カ所と、消防分署2カ所を設置。職員定数は210人。

2. 令和4年度予算

25億7,686万9千円(うち本市負担金13億5,179万7千円)

3. 主な事業

坂戸消防署東分署の中小坂地内への移転に係る新東分署建設工事設計業務委託料(3,585万2千円)、坂戸消防署の高規格救急自動車の更新(3,161万1千円)。坂戸市内に40m型耐震性貯水槽3基新設(3,646万4千円)し消防防災体制の充実強化を図ります。

坂戸地区衛生組合 (し尿処理)

1. 概要

坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、鳩山町の2市3町で、管内のし尿処理事業を共同で行っています。構成自治体で下水道等処理人口を除くし尿処理人口は60,518人。坂戸市は26,915人で44.5%を占めています。

2. 令和4年度予算:2億8,680万円(うち本市負担金1億137万6千円)

3. 主な事業

汚泥処分、施設運転管理に1億27万円。施設の修繕や光熱水費に1億1,255万円を措置し、安定した施設運営に努めます。

広域静苑組合 (越生斎場)

1. 概要

坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、鳩山町の2市3町で、公営斎場(火葬事業)を運営しています。

坂戸市は平成30年12月に組合へ正式加入しました。

2. 令和4年度予算:2億1,623万6千円(うち本市負担金9,650万7千円)

3. 坂戸市民の利用件数

坂戸市民の利用件数は令和元年度が889件、令和2年度が957件、令和3年度が令和4年1月末現在で804件となっています。令和2年度における利用件数957件は施設利用件数全体の39.87%を占めています。

4月1日から市役所内に「マイナポイント予約・申込支援臨時窓口」が開設されます。

- 開設期間 令和4年4月1日から令和5年2月末日まで
平日:午前8時30分から午後5時15分まで
土曜日:午前8時30分から正午まで
※4月2日(土)は平日と同じ時間で開設します。
- 開設場所 市役所東口玄関の市政情報コーナー

《新型コロナウイルスワクチン4・5月の集団接種日程》

- 接種会場 坂戸市民健康センター
- 使用ワクチン モデルナ社製
- 集団接種の予約受付
Web、坂戸市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター
☎0570(066)001(ナビダイヤル) 受付時間:午前9時~午後5時
- 接種日程
(1) これまで市民皆様にご案内している期日
(2) 新たに追加された期日
(4月開催予約受付中分) 4月16日(土) / 4月17日(日)
4月9日(土) / 4月10日(日) 5月7日(土) / 5月8日(日)
4月23日(土) / 4月24日(日) 5月21日(土) / 5月22日(日)
【土曜日】 【日曜日】 ※4月8日(金)9時からWeb、コールセンターで受付
14時~17時 9時~12時 【土曜日】 【日曜日】
13時30分~16時30分 各135人 各270人